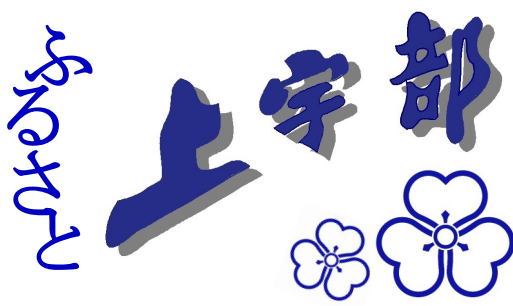


上宇部地区の人口動態（11月1日現在）

世帯数	7,124 世帯	前月比	+ 17 世帯
人口	13,689 人	前月比	+ 16 人
男性	6,675 人	前月比	+ 3 人
女性	7,014 人	前月比	+ 13 人



発行 上宇部地域づくり協議会

事務局 上宇部ふれあいセンター

〒755-0072 宇部市中村2丁目6-15

☎ & FAX (0836) 21-1473

ホームページ <https://www.kamiube.net>投稿メール kamiubecomu@gmail.com

上宇部地域 12・1月の主要行事予定

燃やせないゴミの日・・・ 12/22 (火)

古紙の日・・・・・・ 12/15 (火)

月	日	曜	行 事 名
12	3	木	地域協予算委員会 10:00
			民児協定例会 13:00
	4	金	社協役員会 10:00
			地域協理事会 18:30
	6	日	消防団合同訓練
	8	火	自治連役員会 18:30
	10	木	上子連定例会 19:00
			ふれあい定例会（別館）19:00
	11	金	ごみ減量説明会 18:30
	12	土	まなびーや「包丁研ぎ教室」 9:30
	13	日	市民ソフトボール大会予選
			体振カラーリング教室 9:00
			自主防土のうづくり&AED訓練 9:30
	15	火	のびのび育児の会 10:00
			ヒューマントーク太陽 18:30
	18	金	防犯パトロール 10:00
			配食サービス事前説明会 18:00
			自治会長会議 18:30
	19	土	三世代交流清掃奉仕（八幡宮）8:30
	21	月	地域協役員会 10:00
	25	金	小・中学校終業式
	28	月	民児協準備会 9:30
	29	火	消防年末特別訓練
1	5	火	小・中学校始業式
	10	日	どんど焼き・新春ハッスル大会
	14	木	ふれあい定例会（別館）19:00
	15	金	社協役員会 10:00
	17	日	市民ソフトボール大会

この予定表は11月15日時点のものです。その後の状況により変更する場合があります。ご注意ください。

地域の行事

どんど焼き・新春ハッスル大会

1月10日（日） 上宇部小学校 開催

お年玉抽選会を実施、接待バザーは中止

お知らせ

赤い羽根共同募金の御礼

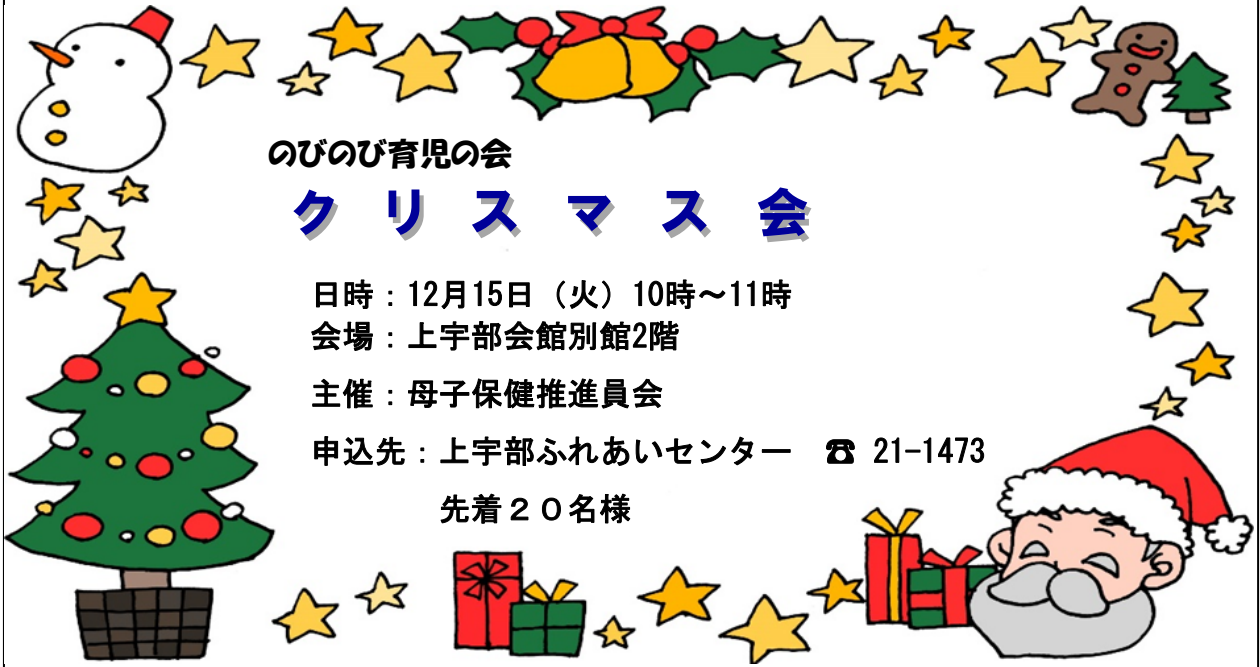


皆様の善意で、1,907,550円の募金が寄せられました。

ご協力ありがとうございました。

上宇部地区共同募金委員会

ご案内



のびのび育児の会

クリスマス会

日時：12月15日（火）10時～11時

会場：上宇部会館別館2階

主催：母子保健推進員会

申込先：上宇部ふれあいセンター ☎ 21-1473

先着20名様

お知らせ

放送大学 入学生募集

○放送大学は、2021年4月入学生を募集しています。

○10代から90代の幅広い世代、約9万人の学生が、大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で学んでいます。

○テレビによる授業だけでなく、学生は授業をインターネットで好きなときに受講することもできます。

○歴史・文学・福祉・経済・心理学・情報・自然科学など、約300の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。

○資料を無料で差し上げています。お気軽に放送大学山口学習センター（☎ 083-928-2501）までご請求下さい。

○出願期間は、第1回が2月28日まで、第2回が3月16日まで。

小学校

小中合同あいさつ運動

11月11日（水）の朝、上宇部中学校の生徒が本校に来校し、児童と一緒にあいさつ運動を行いました。

この取組は、夢たまごネット協議会（上宇部・琴芝地域協育ネット協議



会）の地域連携部会や健康安全部会で「あいさつが地域のエネルギーになるよう小中合同であいさつ運動をしたい」という生徒の思いを実現させたものです。

ちょうど本校でも運営委員会を中心に「あいさつで笑顔あふれる上宇部校区」にするために取り組もうとしていたこともあり、合同で行うことになりました。

今後は毎月第2水曜日に行っていく予定です。

これからも、あいさついっぱいの上宇部校区になるようご家庭や地域でもご協力をよろしくお願いします。

シニア交通安全教室 10月16日(金)

交通安全協会上宇部分会

交通安全協会上宇部分会(原田和子会長)

は、山口県警と交通安全協会の協力によりシニア交通安全教室を開催しました。



防止に努めることを誓い合いました。

山口県交通安全学習館の吉川親房巡査部長が講師を務め、数々の教材を使って交通事故防止のための注意点などを解り易く講話されました。約30名の参加者は、改めて事故

上子連1日体験学習 10月18日(日)

山口県由宇青少年自然の家(山口県ふれあいパーク)に体験



学習に行きました。

今年は校区で様々な行事が中止や延期になる中、今年度初めての上子連の活動となり、子どもたちも楽しみにしていました。

感染症対策に注意しながら、午前中はオリエンテーリング、午後からは七宝焼の制作や陶芸の絵付けを体験しました。

今回はジュニアリーダーも数名参加し、久しぶりにみんなで行動を共にし、笑顔でいっぱいになりました。

まちづくりサークル 10月21日(水)

上宇部校区まちづくりサークルは、ときわ公園

内の「世界を旅する植物館」をきれいなコンシエルジュさんのガイド付きで見学しました。



ここには、熱帯アジア・アフリカ・南アメリカなどの原産地ごとの8つのゾーンがあり、それぞれに特徴的なシンボルツリーが植栽されていました。

その中で印象に残ったのは、ヨーロッパゾーンの樹齢2000年といわれるオリブの木でした。ほかに、珍しいサボテンや食虫植物、さらに高さ14メートルの巨大なイトスギにも出会うことができました。

「防災士の集い」研修会 10月22日(木)

上宇部自主防災会

「上宇部校区自主防災会」は、10月22日(木)に上宇部会館で第3回役員会を兼ねて、「防災士の集い」として研修会を行いました。



参加者は、上宇部校区自主防災会役員および校区内在住の防災士であり、22人が参加して以下の内容で研修を行いました。

はじめに、宇部市防災危機管理課の岡本氏より「上宇部校区内のハザードマップ(危険度分布図他)について災害種別毎の要点」を聞き、続いて、山口大学工学部の村上准教授より昨年度現地調査された「上宇部校区内のブロック塀の調査結果報告」を聴講しました。

講演の後で質疑応答を行い、会場からの質問に講師が答える形式で進行し、真綿川の氾濫危険性やブロック塀の健全度評価などについて説明がありました。

「まなびーや」がスタート 10月24日(土)

社会教育推進委員会

校区社会教育推進委員会(山本毅文会長)主催の「まなびーや」の今年度初回「数の歴史」が地域住民の参加で開催された。



講師は、今年度から社会教育推進委員となった吉富勉さん(本区)が務め、「今日の雑学として頭の片隅に置いておいて」として、写真やイラストを交えて、古代文明の発展の過程で欠かすことのできなかった数を表すシステムとその歴史について学んだ。

まなびーやは、校区社会教育推進委員会(9名)の事業として「学び」をテーマに地域住民の社会参加のきっかけ作りとコミュニケーションスキル事業の協力連携を目的に2020年度からスタート。今年度もあと2講座を予定している。

ドッジビー大会 11月1日(日)

山門Aチーム優勝

上子連

コロナの影響で延期になっていたドッジビー大会が行われた。

子どもたちは短い練習期間の中でも頑張っており組み元気いっぱい素晴らしい試合だった。



5チームが対戦し、山門Aチームが優勝しましたが、僅差でどのチームが優勝してもおかしくない展開でした。

結果は次のとおり
1位 山門Aチーム
2位 山門Bチーム
3位 NKK

市子連大会に出場のため、4・5・6年生が「連合チーム」を編成し、11月22日(日)(会場:小野小学校校体育館)の大会に向け練習をしている。

カローリング大会 11月7日(土)

「健康かみうべ21」と「上宇部きらめき隊」



は、11月7日(土)に上宇部中学校校体育館で「第2回夢たまごカローリングカップ大会」を行いました。参加したのは、上宇部中学校生徒が12チーム36人、先生が1チーム3人、上宇部地域づくり協議会が3チーム9人の計16チーム48人で、トーナメント方式の競技を行いました。新型コロナウイルス感染症防止のため、行事の中止が続く中で、和気あいあい

で競技が行われ楽しい半日となりました。カローリングは、1チーム3人の2チームが対抗で円盤状のストーンを床の上で滑らせ、的に近い人の得点を集計して競うものです。各人が5回交互に投げて、総得点の多いチームの勝利となります。中学生上位3チームと最下位より1つ上のチームに賞品を贈り、おはぎと参加賞を生徒全員に渡して、約2時間で終了しました。

ちびっこのつどい 11月14日(日)

「こけだま作り」

母親クラブ

毎年、親子の交流・文化活動として行っている「ちびっこのつどい」が、上宇部会館駐車場で行われた。



「aya工房」山本綾先生を講師に迎え、自宅で過ごす時間が多くなり、インテリアとして人気があつた「こけだま作り」に、親子40人が参加した。

土に水を加え耳たぶの硬さになるまでこねて土団子を作り、好きな観葉植物を選んで根元を包み、苔で巻いて糸で止めて完成。木製のおしゃれな受け皿に飾った。

子どもたちは、ツヤツヤの土団子やふわふわの苔の感触を楽しみながら、友達や家族と交流の時間を過ごした。